

令和7年度北海道北広島西高等学校学校関係者

学校名	北海道北広島西高等学校
-----	-------------

1 本年度の重点目標

- (1) 目指す生徒像の実現に向けて資質・能力の育成を図る。
 (2) 安心・安全の確保と学びの保障を両立させ、教育の質の維持・向上を図る。

組織名	学校評議員会
評価者	
学校評議員	5名

2 自己評価結果

評価項目・指導等		達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価結果内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善方策の適切さ
項目	小項目						
学習指導	「学び直し」(ベーシックスタディ)の取組を軸に、基礎的、基本的な知識、技能の習得等を土台として、基礎学力の定着を図っている。	A	A	○「ベーシック・スタディ」を2学年でも開設し、学習の基盤作りを強化する。 ○授業の相互参観の進化と生徒の実態に応じた授業展開の構築により、生徒に対する個々に応じた「学びのデザイン」の構築を図る。 ○「総合的な探究の時間」の1単位増加により、探究的な活動の強化を図る。 ○生徒による「目指す生徒像」への検討の強化から、主体的な校則の構築を図らせる。 ○日常的に生徒が悩みや困りごとをする場の設定を推進する。 ○「社会の有意な担い手」としての意識を醸成する教育活動の強化を図る。	B	A	A
	授業内容を工夫したりICTを活用したりして、個別最適な学びの実践を図っている。	B	A				
	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、授業改善に取り組んでいる。	C	B				
生徒指導	規範意識の向上と基本的な生活習慣の定着に取り組んでいる。	B	A	○進路における情報収集を強化し、進路実現に向けた相談活動の深化を図る。 ○キタニシプロジェクトとキャリア教育の関連づけを強化し、主体的に「自己の在り方生き方」を深める態度を育成する。	B	B	A
	いじめの未然防止・早期発見・早期解消に組織的に取り組んでいる。	A	B				
	事故や問題行動等の未然防止に向け、開発的・予防的な指導や相談に取り組んでいる。	B	B				
進路指導	生徒の自己実現に向け、3年間を見通した組織的・体系的なキャリア形成が行われている。	B	B	○地域との連携強化をさらに図るためコンソーシアム組織を設立する。 ○SNSの投稿を強化することにより、教育活動の魅力の広報を推進する。	B	B	B
	外部との連携により、自らの進路を切り拓く意欲と、社会人として必要な能力の向上を図っている。	B	B				
	面談や説明会等を通じて、保護者に進路情報の周知が行われ、適切な進路選択に向けて、保護者との連携が図られている。	B	B				
地域や保護者との連携	本校では、ホームページやInstagram、LINE連絡帳等での情報発信を通じて、保護者や地域との情報共有や連携を図っている。	A	A	○地域との連携強化をさらに図るためコンソーシアム組織を設立する。 ○SNSの投稿を強化することにより、教育活動の魅力の広報を推進する。	B	A	A
	本校では、PTA活動が活発に行われている。	B	A				
	ボランティア活動への参加や、地域と連携した行事等の実施を通じて、主体性や自己肯定感の高揚を図っている。	C	A				
学校運営	「目指す生徒像」や「スクールミッション」を踏まえた明確な目標のもと、学校として教育活動の評価、改善、充実に取り組んでいる。	A	B	○日常的な教育活動と「育成を目指す資質・能力」との関連付けの可視化を強化する。 ○学校DXの推進により、職員のウェル・ビーイングの向上を図り、本校の教育活動のクオリティの向上を図る。 ○「不祥事ゼロ」の実現を目指し、不祥事防止に向けた取り組みの深化を図る。	B	A	A
	教職員が教育のプロとしての自信と使命感を持ち、生徒や保護者、また地域から信頼されるように努めている。	B	A				
	「働き方改革」の推進に向けて、職員の意識改革や学校運営の工夫・改善を図っている。	C	A				

A:十分である B:おおむね十分である C:やや不十分である D:不十分である